

別記第1号様式(第7関係)

会 議 録

附属機関又は 会議体の名称		区民ひろば推進本部会議
事務局 (担当課)		地域区民ひろば課
開 催 日 時		令和8年2月19日(木) 10時00分～11時00分
開 催 場 所		509・510 会議室
議 題		1 地域区民ひろば推進本部 部会報告について 高齢者部会 子育て部会 CSW 部会 安全安心部会 2 地域区民ひろば課報告 令和7年度地域区民ひろばの取り組みについて
公開の 可否	会 議	<input type="checkbox"/> 公開 <input checked="" type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開 傍聴人数 人
		非公開・一部非公開の場合は、その理由 行政機関における政策意思決定過程途上に位置付けら れる会議であるため
	会 議 録	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開
		非公開・一部非公開の場合は、その理由

出席者	本部長	副区長
	副本部長 本部員 幹事	区民部長 福祉部長 子ども家庭部長 総務部 防災危機管理課長 区民部 区民活動推進課長 区民部 地域区民ひろば課長 文化スポーツ部 生涯学習・スポーツ課長 福祉部 福祉総務課長 福祉部 高齢者福祉課長 福祉部 障害福祉課長 子ども家庭部 子ども若者課長 子ども家庭部 子ども家庭支援センター所長 子ども家庭部 保育課長 教育委員会事務局 教育部 放課後対策課長 教育委員会事務局 教育部 学校支援担当課長 豊島区民社会福祉協議会 共生社会課長
	事務局	地域区民ひろば課

要約

本会議は、地域区民ひろばの活動方針を議論するため開催された。今年度は形式を変更し、4つの部会(高齢者、子育て、CSW、安全安心)が各テーマに基づく一年間の議論の成果と来年度の方向性を報告。デジタルデバйд解消、子どもの体験機会創出、ウェルビーイングデータ活用、防災体制強化などの具体的な課題と施策が共有された。また、区民ひろば椎名町の NPO 委託本格実施が報告され、今後は重層的支援体制の拠点としての役割も期待されている。

各部会報告

○会議の新たな形式

今年度は PDCA の形骸化を防ぐため、これまで任意で進めてきた部会活動を一旦地域区民ひろば課で引き上げたうえで各部会が課題を設定し、議論の成果を報告する形式に変更された。

○高齢者部会の報告

高齢者のデジタルデバйд解消をテーマに、スマホ教室の課題(リピーター中心、職員負担増)を共有し、来年度は区全体のスマホ教室情報の集約や、特定アプリの講座実施を提案した。

○子育て部会の報告

子どもの体験機会創出をテーマに、小学生以上への周知方法や補助金終了後の継続性が課題であると指摘。今後は量より質を重視し、モデル事業型の運営への転換を提案した。

○CSW 部会の報告

ウェルビーイングデータを活用したコミュニティの可視化をテーマに調査を実施。来年度は南大塚(多文化共生)と要(福祉プラットフォーム)でモデル事業を展開する方針を示した。

○安全安心部会の報告

防災力向上をテーマに、補助救援センターとしての役割の明確化や実践的なマニュアル作成が課題であると報告。平時からの周知と繰り返し訓練の重要性を強調した。

○総括と今後の展望

元区民ひろば課長経験者から各部会の活動への評価と今後の期待が述べられ、本部長からは重層的支援体制の拠点化など、区民ひろばが共創共生の場として更なる発展を目指す方針が示された。

発言まとめ

○地域区民ひろば課長

会議の形式変更の意図を説明。また、区民ひろば課の今年度の取り組み(アンバサダーキャラクター、スマホ教室、夏休み子ども居場所事業等)を報告し、各部署との連携を呼びかけた。

○高齢者福祉課長

高齢者部会として、デジタルデバイド解消に向けたスマホ教室の現状と課題(新規層の開拓難、職員負担等)、来年度の方向性を説明した。

○子ども家庭支援センター所長

子育て部会として、子どもの体験機会創出における周知の難しさや事業の継続性の課題を挙げ、事業の「量より質」への転換を提案した。

○福祉総務課長

CSW 部会として、ウェルビーイングデータを活用したコミュニティ可視化の取り組みを報告。来年度は南大塚地域と要地域でモデル事業を展開する計画を明かした。

○防災危機管理課長

安全安心部会として、防災拠点としての区民ひろばの課題(補助救援センターの曖昧さ、マニュアルの複雑さ等)を報告し、簡素で実践的なマニュアル作成と繰り返し訓練の重要性を訴えた。

○区民部長

各部会の活発な議論を高く評価し、部署間の横連携による更なる推進への期待を述べた。

○福祉部長

高齢者福祉施策における区民ひろばの協力に感謝を述べるとともに、CSW との連携強化の必要性を指摘した。

○子ども家庭部長

各部会の活動がイベントで終わらず、区民ひろばが自走できる「実装可能な事業」となる必要性を指摘した。

○副区長

今後は重層的支援体制整備事業の拠点としての役割も期待。区民ひろばが住民の「居場所」だけでなく「活動の場」となる「共創共生の場」として発展していく方針を示した。

会議まとめ

○会議形式の変更

今年度の会議は、各部会が事前に設定したテーマ(高齢者の DX、子育て支援、コミュニティ可視化、防災)に関する議論の成果を報告する形式で実施された。

○各部会の課題共有

スマホ教室のリピーター問題、小学生以上へのイベント周知不足、災害時の役割分担の曖昧さ、複雑な防災マニュアルなど、各分野で現場の具体的な課題が共有された。

○来年度の方向性

各部会から、特定アプリに特化した講座の実施(高齢者)、モデル事業型への転換(子育て)、2地区でのモデル事業展開(CSW)、簡素なマニュアル作成(安全安心)など、具体的な改善策が提案された。

○NPO 委託の本格実施

区民ひろば椎名町について、モデル事業を経て課題改善が見られたことから、令和8年度よりNPO 法人への委託を本格実施することが報告・了承された。

○区民ひろばの将来像

本部長より、区民ひろばを重層的支援体制整備事業の拠点とし、住民が主体的に活動する「共創共生の場」として発展させていく方針が示された。

今後の展開

- ・高齢者向け施策に関するリーフレット等を作成し、各区民広場での PR 協力を依頼する。
- ・CSW の事業内容を区民ひろば側にも「見える化」し、連携機会の損失を防ぐ。
- ・くりらば事業において、スキップ等を会場として実施する調整を進める。
- ・ウェルビーイングデータのダッシュボードを、関係者がより手軽に閲覧できる方法を検討する。
- ・各ひろばの訓練内容を集約し、簡素で実践的な防災マニュアルを作成する。
- ・区民ひろば椎名町の NPO 法人への委託本格実施に向けた契約手続きを進める。
- ・本日の議論を踏まえ、来年度の推進本部会議に向けて部会構成等の見直しを行う。

<終了>

提出された資料等	<ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度 各部会報告 (高齢者・子育て・CSW・安心安全) ・地域区民ひろば課報告案件 「令和7年度地域区民ひろばの取り組みについて」
----------	--